守谷ボランティア NEWS

2026 年 11 月号（毎月 1 日発行）

＜発行＞守谷市民活動支援センター
〒302-0119　守谷市御所ケ丘 5 丁目 25 番 1
守谷市市民交流プラザ 2 階
電話：0297-46-3370　FAX：0297-46-3320
Email：supportcenter@moriya-cac.org
ホームページ U R L：https://moriya-cac.org/
開館時間：午前 9 時～午後 5 時（午後 8 時まで延長可）
休館日：月曜日、年末年始

もりやクリスマスファンタジー2026　ボランティア＆参加者　大募集

守谷駅西口広場を飾り付け、ライトアップするもりやクリスマスファンタジー。1年を締めくくる冬のイベントに参加しませんか。点灯式のほかに、イベントも予定しています。家族連れ大歓迎です！





【点灯式】 ●日時　12月20日(日)　16:00～19:00 ※雨天中止　●場所　守谷駅西口広場

【①ランタン作りワークショップ】 作ったランタンは、点灯式で広場に飾れます。
●日時　12月13日(日)　13:30～15:30　●場所　市民活動支援センター　会議室　●定員　先着20人　●参加費　無料
●持ち物　はさみ、のり、カッター、マスキングテープ（好きな柄）　●申込期間　11月20日(金)9時～12月6日(日)16時

【②飾り付け・片付け ボランティア募集】
●日時［飾り付け］11月29日(日)　9:00～　※雨天時　12月6日(日)
［片付け］　12月26日(土)　9:00～　※雨天時　12月27日(日)
●場所　守谷駅西口広場　●持ち物　軍手　●申込期限　参加希望日の前日16時まで

ランタン作り　　ボランティア

●申込方法（①②共通）右のQRコードまたはセンター窓口から申し込む
●主催・問合先　守谷市ネットワーカー連絡協議会　安藤(あんどう)☎090-6569-3764　石澤(いしざわ)☎090-3148-5370

守谷の自然を楽しみませんか？　～守谷ネイチャーライフ 写真展～

守谷ネイチャーライフでは市内に広がる自然を観察し、見つけた植物や生き物などをホームページで紹介しています。この一年に投稿のあった写真の中からベストショットを集めて展示を行います。



●日時・会場　※会場によって開館時間、休館日などが異なります。
11/30(月)～12/15(火)　北守谷公民館
12/15(火)～12/22(火)　守谷市民活動支援センター
12/22(火)～1/9(土)　中央公民館
●主催　守谷ネイチャーライフ　●問合先　倉津(くらつ)☎090-6566-9065

登録団体活動情報　11 月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団 体 名	場 所	活 動 日	問 合 先
肢体不自由児・医療的ケア児の家族会　そら～ち 情報交換・ワークショップ	守谷市内公共施設 （ミ・ナーデ、市民ギャラリーなど）	月 1 回（主に土曜か日曜）	綿引・小菅 sorachi2021niji@gmail.com
ブルーベリーファーム蝶むすび ブルーベリー作り・市民対象のブルーベリー摘み体験	畑（立沢）	月 1 回（第 1 日曜）	市民活動支援センター

助成金情報 ＊内容は変更になる場合があります。各 HP をご確認ください。

地域活動・まちづくり	**～11/30「連合・愛のカンパ」立ち上げ支援プロジェクト助成** 公益財団法人 さわやか福祉財団 https://www.akaihane-ibaraki.jp/?josei=3832
社会教育	**10/12～11/30　2027 年度人材育成への助成事業** 公益財団法人電通育英会 https://www.dentsu-ikueikai.or.jp/transmission/
福祉・地域活動・まちづくり	**～12/4　地域福祉特別助成** 社会福祉法人 茨城県共同募金会 https://www.akaihane-ibaraki.jp/?josei=3832

豆コラ

部活動の地域移行とは、学校の教員が担ってきた中学校の部活動を、地域のクラブや指導者へゆだねる取り組みです。2026 年度からは「改革実行期間」が始まり、休日の部活動は原則として地域展開へ進みます。メリットは、複数校の生徒が集まることで、学校だけでは難しかった種目にも挑戦できること、専門の指導者から学べること、そして教員の勤務時間の短縮につながることです。一方で、課題もあります。指導者や練習場所が足りない地域もあり、費用や送迎の負担が保護者に増えることも心配されます。部活動が居場所だった子どもの受け皿や、勝利を重視しすぎる指導の過熱にも注意が必要です。こうした課題は、学校や家庭だけでは解決できません。指導、練習場所の提供、送迎や見守りなど、得意なことを少しだけ分けていただくことが、子どもたちの未来の活動を支えます。地域のみなさんの力を、子どもたちの部活動に貸してみませんか。

こんにちは！守谷のボランティアさん

「木版画とテラリウムの展示会」を取材してきました

2026 年 9 月 25 日（金） @市民活動支援センター

爺ちゃんと孫とで…
心温まるコラボレーション「木版画とテラリウムの展示会」に伺いました！

守谷歴 32 年の山藤誠一さん(爺ちゃん)と、守谷生まれのお孫さんによる二人展です。市民活動支援センターには、数々の木版画やテラリウムを展示。期間中は県外からも多数訪れ、のべ 220 人以上の観覧者でにぎわっていました。
山藤さんが木版画を始めたのは、約 40 年前。年賀状を木版画で作ったのがきっかけだそう。ゼロから独学で技術を学び、長年にわたって創作版画の制作を続けています。
7～8 年前に東京・谷中で初の個展を開いて以来、銀座でのグループ展に参加するなど活動の幅を広げ、今回が 8 回目の個展になります。





「地元の人たちにも見てほしい」という思いから、守谷市では初めての展示会が実現できました。しかもお孫さんとの二人展です。
山藤さんの木版画のモチーフは、人物や街の様子、風景など実に多彩です。懐かしさを感じさせる作品や印象に残る人物画など、いつまでも眺めていたくなります。
題材はほぼご自身の原体験で、何気ない暮らしや目に映る風景などを元に制作されており、「自分の日記のようなもの」とおっしゃっていました。

まるで絵画のような作品もあり、制作過程について伺いました。写真にある少女の木版画は、顔や髪など 6 枚の版木を彫り、色を重ねながら刷り上げていくそうです。完成形をイメージしながら、版を重ねる順番や色合いを考えるのが難しそうですが、山藤さんの頭の中にはすでに完成図が描かれていたのでしょうか。



少女の木版画



テラリウム

今回、一緒に展示会を開いたお孫さんは高校 1 年生。小学校高学年の頃から苔が好きで、テラリウムを習い始めたそうです。今では素晴らしい作品を次々と生み出しています。
テラリウムとは、ガラス容器の中で植物や苔などを育てる園芸のこと。容器の中で水分が蒸発し、結露となって再び土へ戻っていく様子は、まるで小さな地球のようです。
自然が大好きなお孫さんは、山藤さんと一緒に渓流釣りにも出かけるそうです。爺ちゃんと本当に仲良しなんですね。

二人展は当初からチャリティーを目的の一つとしており、作品の売り上げの一部は、センター登録団体である「もりんくる」「ほっとカモン」「そら～ち」「もりサポ塾」に寄付されました。
今後、ご自身の制作活動を続けながら、市内の絵画や陶芸などの美術家にも声をかけ、チャリティー美術展を開催したいそうです。
木版画とテラリウム、それぞれの魅力が響き合う心温まる展示会でした。山藤さんとお孫さんの今後のご活躍を楽しみにしています！

市民活動支援センター
市民活動とどけ隊